

報道関係者各位

結婚・出産でここまで変わる女性の仕事観！ 独身時代は「自己成長」、結婚したら「家庭との両立」

～結婚後は両立派多数。同じ境遇の仲間の存在が励みに～

働く意欲のある主婦層へのアンケート:「しゅふ活研究室」調べ

主婦に特化した人材サービスを提供する株式会社ピースタイル(本社:東京都新宿区、代表取締役:三原邦彦、以下ピースタイル)が運営する「しゅふ活研究室」は、女性の仕事選びが、結婚・出産をきっかけにどのように変化するかをテーマにアンケートを行いました。

結婚前(独身時代)の仕事選びにおいては、「自己成長」・「仕事内容」など自分のキャリアを主軸とした仕事選びをしていますが、結婚を境に大きくその優先順位が変わって「プライベートとの両立」が重視されると共に「同じ境遇の仲間がいるか否か」も重視され、家庭を基軸とした仕事選びとなっている実態が浮き彫りになりました。

【調査概要】

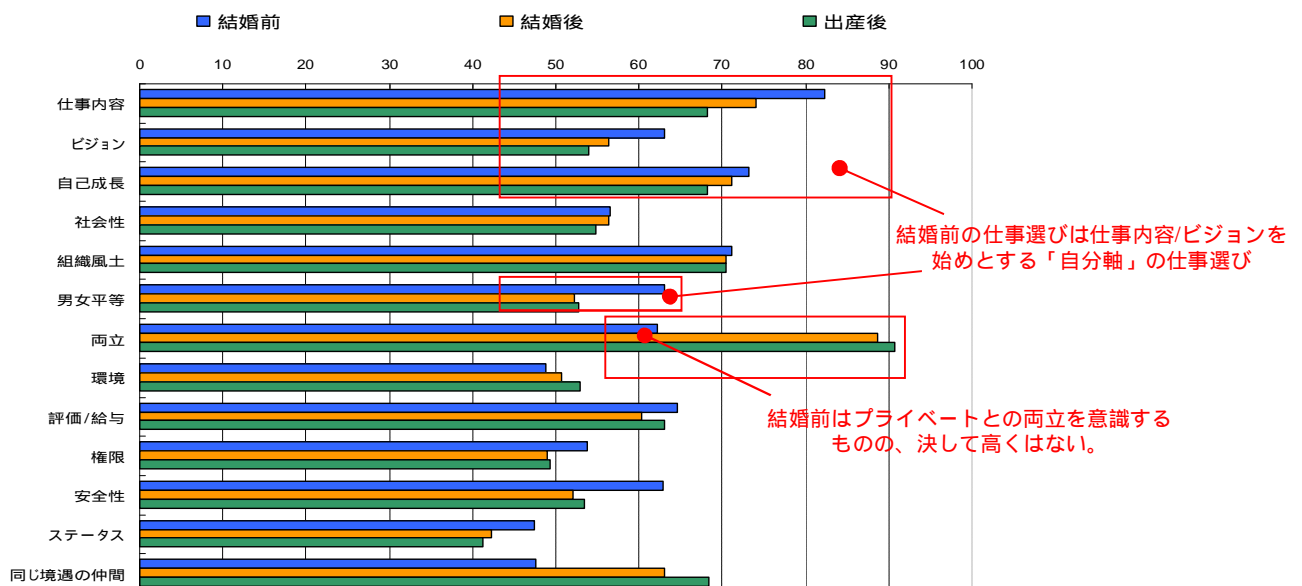
調査手法 : インターネットリサーチ(無記名式)
有効回答者数 : 375名(すべて女性)
調査実施日 : 2011年10月19日から2011年10月30日まで
調査対象者 : ピースタイル/しゅふJOB登録者及びフェイスブック等にて一般公募

調査結果サマリー

1. 結婚前の女性が仕事選びで最も重要視するのは「仕事内容」。
2. 結婚、出産後は「プライベートとの両立」「職場環境」などを重視して「家庭軸」に。
3. 「会社のステータス」「仕事内容」「企業ビジョン」「自己成長」という項目は結婚・出産と経て重視されなくなる。

1. 結婚前の女性が仕事選びで最も重要視するのは「仕事内容」。

図1: 仕事選びで重視する項目(比較グラフ)



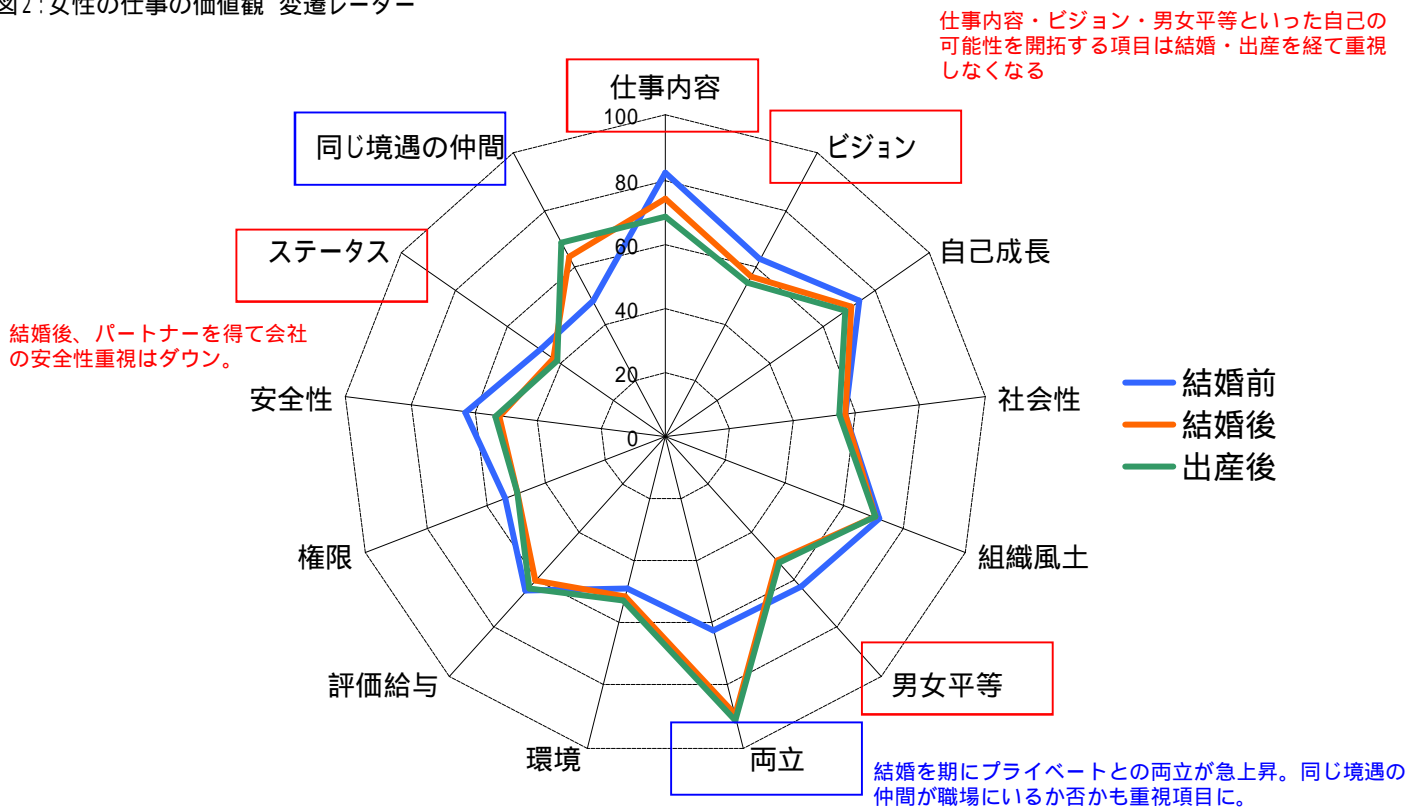
結婚前の女性が仕事選びで重視する項目は「仕事内容」・「自己成長の機会」。結婚/出産後の傾向と比較すると「男女平等」を重視しており、自分の可能性の開拓やそれができる環境であるか否かが基準となっている。「プライベートとの両立」については、意識はするものの、14項目中9番目と決して高い順位ではなかった。

2. 結婚、出産後は「プライベートとの両立」「職場環境」などを重視して「家庭軸」に。

結婚を境に仕事選びの価値観が「家庭中心」に大きくシフト。「プライベートとの両立」・「同じ境遇の仲間」・「職場環境」を評価項目として重んじるようになる。

3. 「会社のステータス」「仕事内容」「企業ビジョン」「自己成長」という項目は結婚・出産を経て重視されなくなる。

図2: 女性の仕事の価値観 変遷レーダー



『仕事内容』『勤務先の企業ビジョン』『自己成長の機会』『勤務先のステータス』などの項目については、結婚・出産を経るごとに重視しなくなる傾向がある。家庭との両立を重視するにつれ、結婚前に重視していた条件を外してでも、より現実に合わせた選択をしようとする意思が現れた結果だと推察される。

ポイントを以下にまとめます。

厚生労働省が毎月集計する一般職業紹介状況2011年9月実績によると、常用型パートの有効求人倍率は0.81。事務的職業にいたっては0.36と、求職希望数と比較して求人数が少ない状況が続いています。株式会社ビー・スタイルでは、女性が結婚・出産を経て「自分軸」から「家庭軸」へと変遷する女性労働者の就職希望動向を踏まえ女性の家庭環境の変化に合わせた就業機会を創出するべく、主婦層を主軸としたパートタイム型派遣や在宅型での人材サービスに力を入れていく所存です。

< 株式会社ビースタイルについて >

企業理念は「best basic style」。時代に合わせて新たなスタンダードをつくる会社です。この理念に基づき、2002年の創業以来、働きたい主婦に対して就業支援を行って参りました。約11年間で生み出した主婦の雇用数はのべ3万人。女性がそれぞれの価値観、ライフスタイルに合わせて働ける社会の実現に向け、派遣・在宅・エグゼパートなど、様々な人材サービスを提供しています。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

(株)ビースタイル 広報担当:金子・柴田・川上 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 ダヴィンチ新宿ビル5F
Tel:03-5363-4402 Fax:03-5363-4544 Mail:pr@b-style.net ホームページ:http://www.b-style.net/

報道関係者のかた向けに、当リリースに掲載しきれなかったアンケート結果をご用意しています。
本リリースの引用の際は、必ず「ビースタイルしゅふ活研究室調べ」とクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。